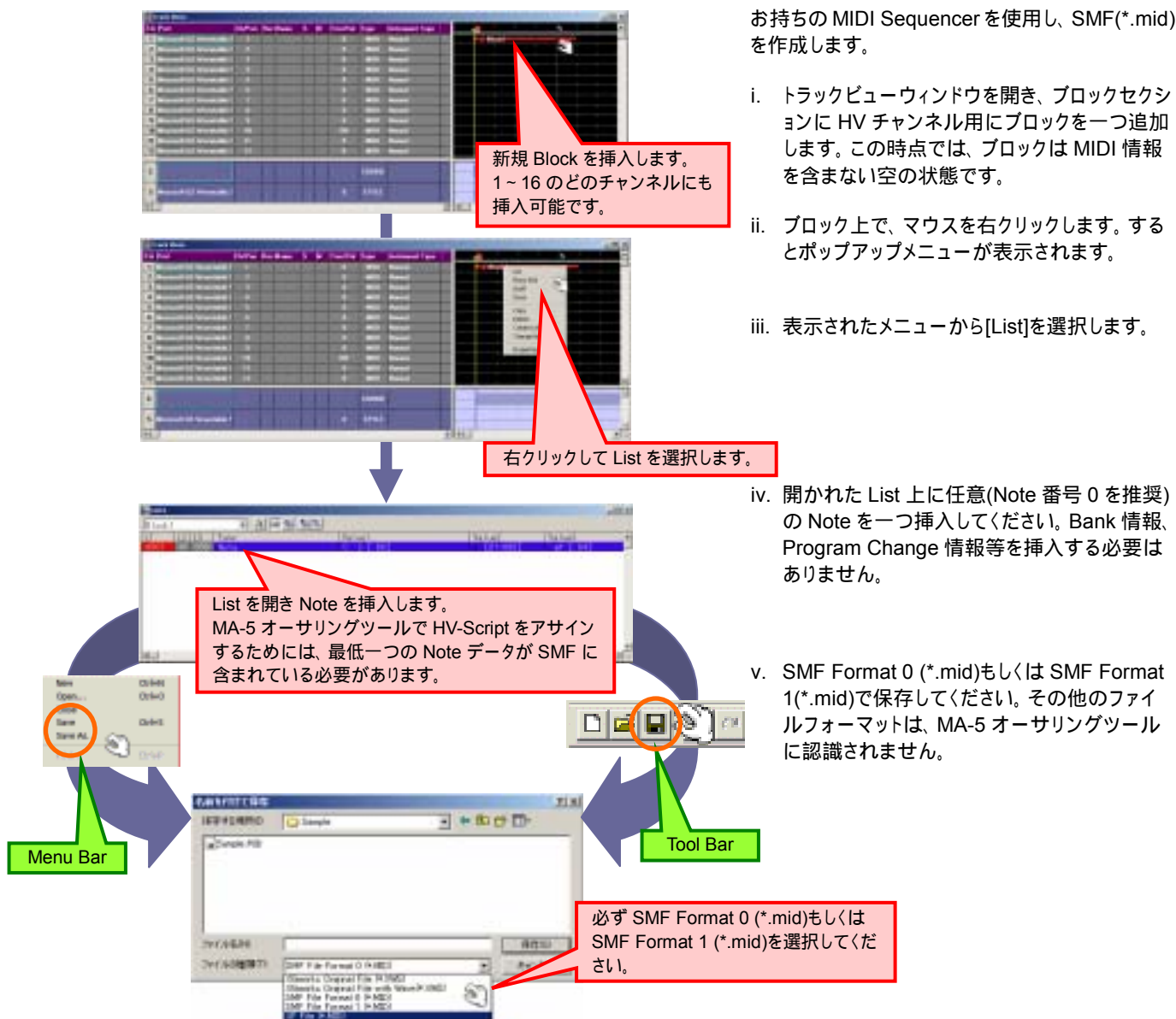


HV-Script をアサインする

本書では、HV-Script を MLD ファイル(*.mid) にアサインする (貼り付ける) 一連の操作手順を説明します。HV-Script だけでできた MLD ファイル(*.mid) だけでなく、楽曲データに同期して HV-Script をアサインさせた MLD ファイル(*.mid) を作成することもできます。

SMF(*.mid)を作成する

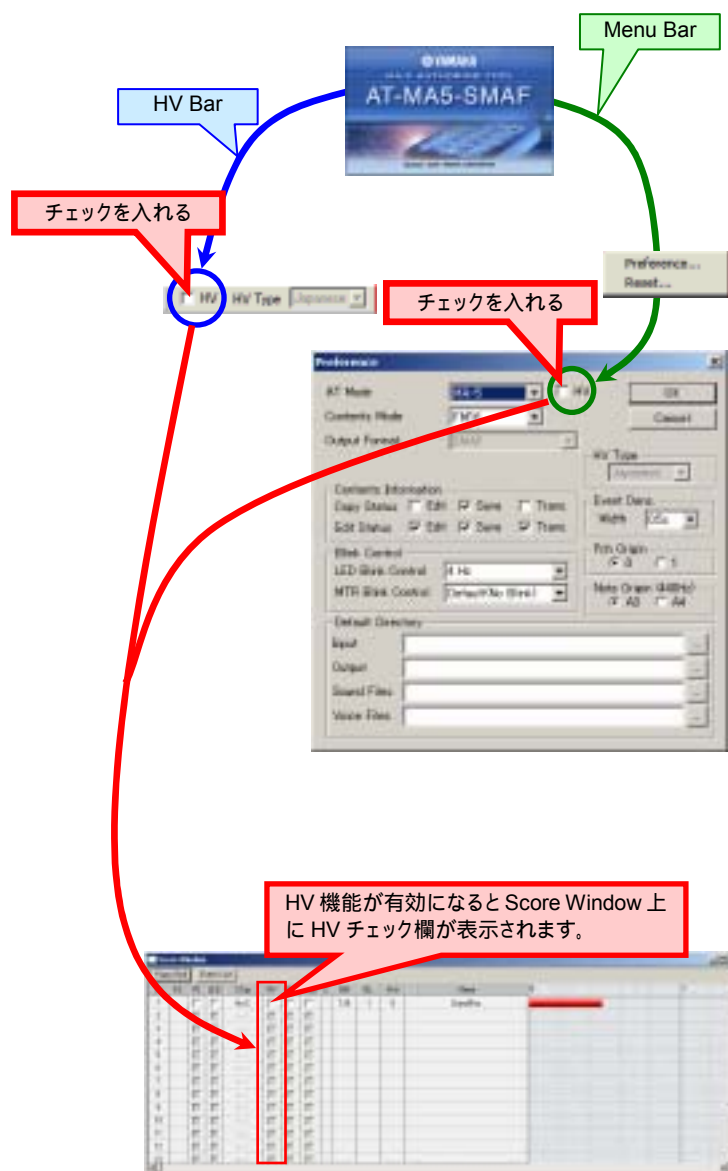
HV-Script を MLD ファイル(*.mid) にアサインするためには、前もって SMF(*.mid) に設定をしておく必要があります。本章では、前過程である SMF(*.mid) を作成する方法を説明します (本文では YAMAHA 製 MIDI Sequencer “XGworks” を例に説明しております。お持ちの MIDI Sequencer とは、使用方法が異なる場合がありますので、詳しくは MIDI Sequencer の取扱説明書をご覧ください)。



MLD に HV-Script をアサインする

本章では、Sequencer で作成した SMF(*.mid)を MA-5 オーサリングツールで読み込み、HV-Script をアサインする一連の操作を説明いたします。

Step1 HV 機能を有効にする

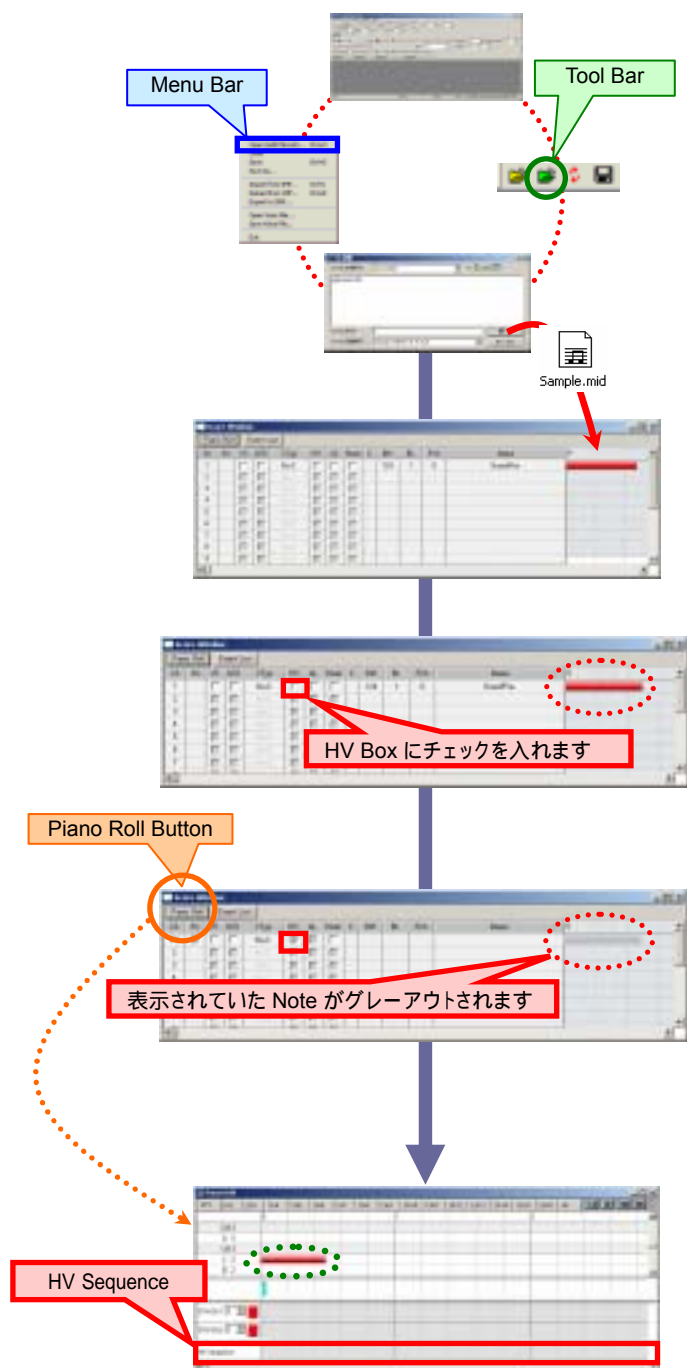


HV 機能を使用するために、先ず初めに MA-5 オーサリングツールの HV 環境をアクティブにしなくてはなりません。

- MA-5 オーサリングツールを起動します。
- Application Window 上の HV Bar のチェックボックスをチェックする、または Menu Bar → Option → Preference の順で Preference Window を開き、HV チェックボックスにチェックをします。
- Score Window 上に HV チェック欄が表示されます。これで HV 機能が有効になりました。

HV 機能を使うことができるのはオーサリングツールの Mode が MA-5 mode の時のみです。ご注意ください。

Step2 SMF を読み込み、HV 用チャンネルを表示する



i. MIDI Sequencer で作成した SMF(*.mid)を MA-5 オーサリングツールに読み込みます。

ii. 読み込まれた SMF(*.mid)は楽曲データとして、Score Window 上で確認することができます。

iii. HV 用として使うチャンネルの HV チェックボックスにチェックを入れます。

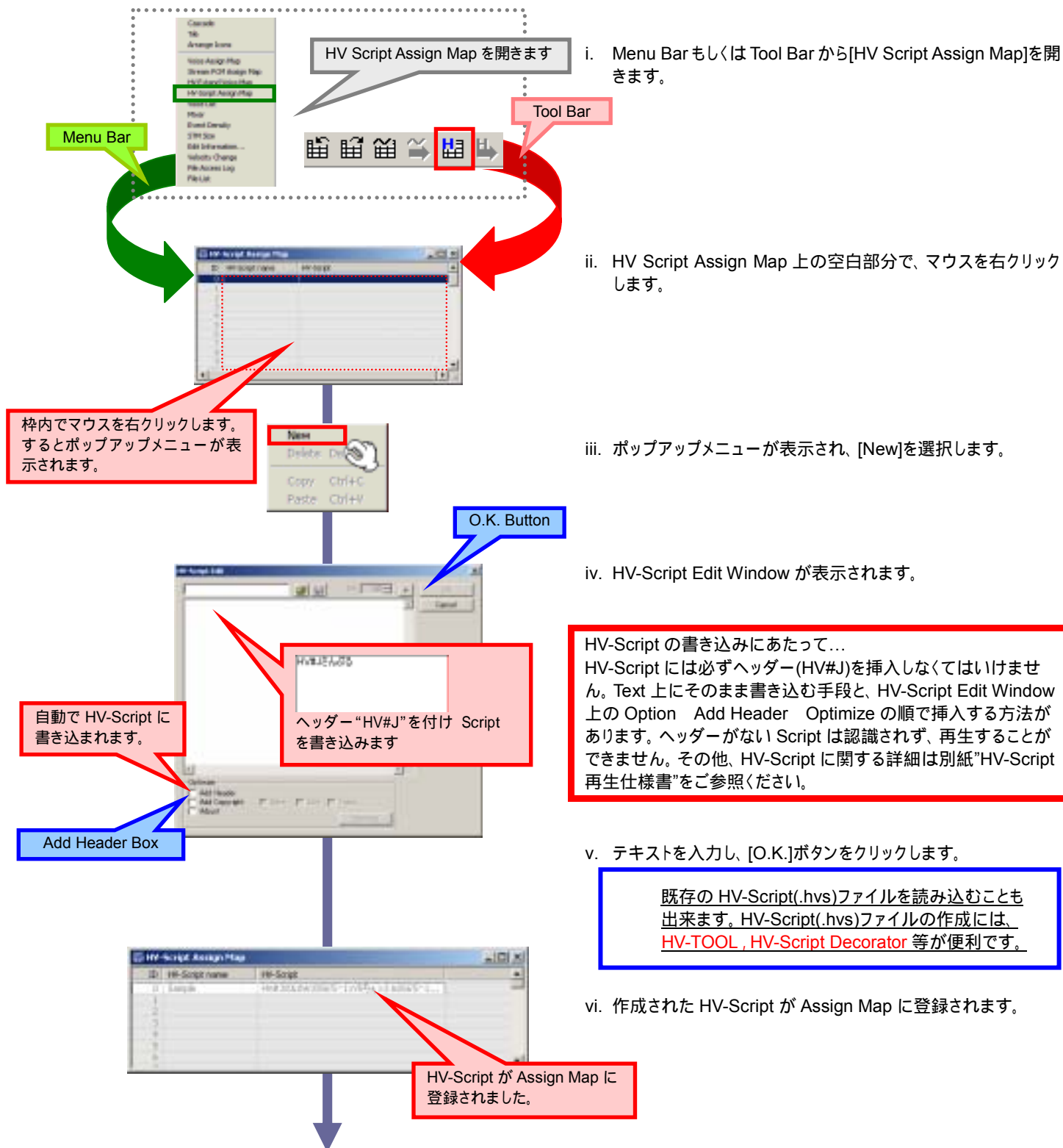
iv. 今まで表示されていた Note 情報が非表示になり、Note Bar がグレイアウトされます。(楽曲データに HV 用のチャンネルしかない場合、この時点では再生不可となります。)

v. Score Window 上にある[Piano Roll]ボタンをクリックします。

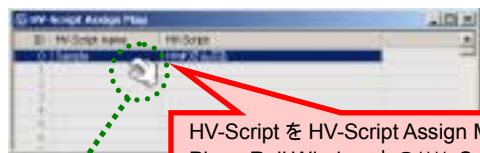
vi. Piano Roll Window が表示されます。この時、Piano Roll Window 上に HV Sequence が表示されていることをご確認ください。

Step3 HV-Script を作成し HV-Script Assign Map に登録する

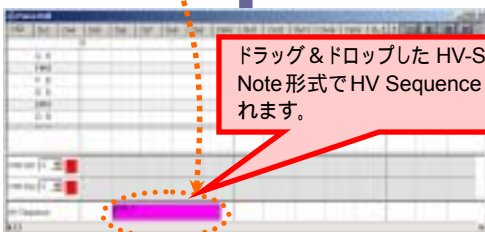
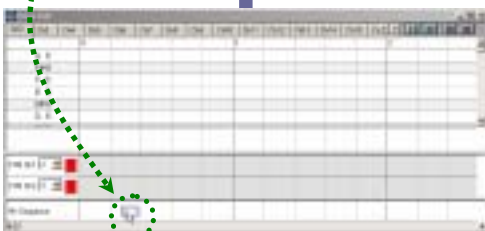
読み込んだ楽曲データに、HV-Script を作成し、アサインします。



Step4 HV-Script を MLD にアサインする

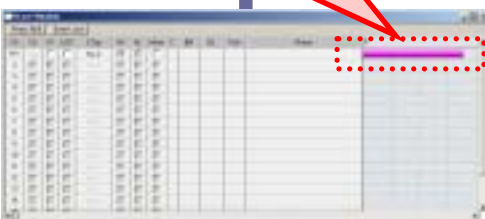


HV-Script を HV-Script Assign Map から Piano Roll Window 上の HV Sequence にドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップした HV-Script が Note 形式で HV Sequence 上に挿入されます。

グレイアウトされていた Note に色が付きました。



i. HV-Script Assign Map を開き、Step3 で作成した HV-Script データ上でマウスを左クリックします。

ii. Piano Roll Window 上の HV Sequence までドラッグ & ドロップしてください。

iii. ドラッグ & ドロップにより、挿入された HV-Script が Note 形式で HV Sequence 上に表示されます。

iv. 楽曲データと同期させるために HV-Script の位置をドラッグして移動することが可能です。

これで HV-Script を楽曲データにアサインする一連の作業が終了しました。

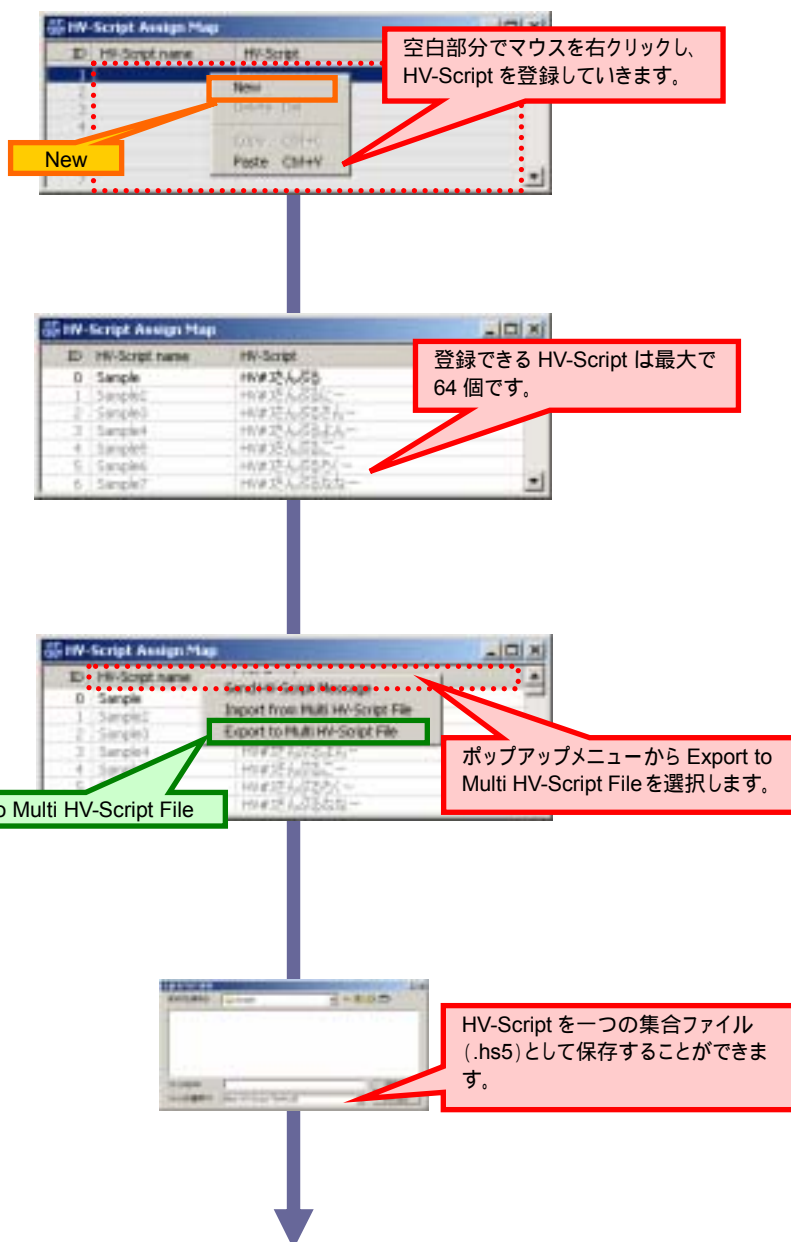
HV 補足機能

本章では、HV-Script を MLD にアサインするにあたっての補足機能について説明いたします。

Multi HV-Script File (*.hs5)

複数の HV-Script を一つのリストファイルとして保存し利用することができます。

Multi HV-Script File を保存する



i. HV-Script Assign Map を開き、マウス右クリックによりポップアップメニューを開き[New]を選択します。

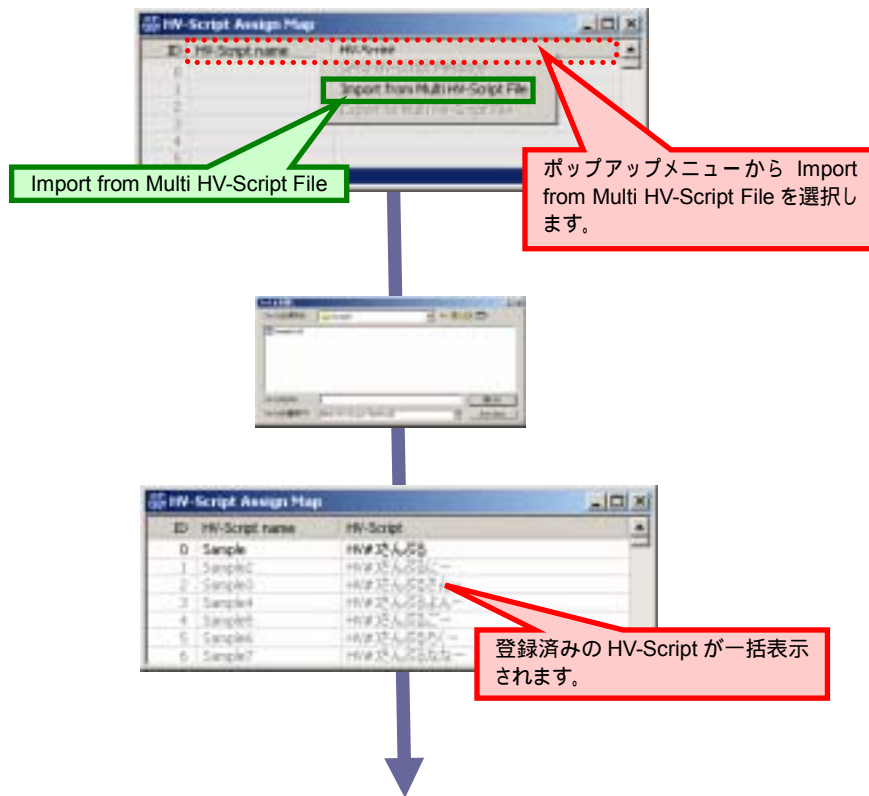
ii. HV-Script Edit Window を開き HV-Script を作成し、HV-Script Assign Map に登録します。

iii. HV-Script Assign Map 上のタイトル表示欄でマウスを右クリックすることにより、ポップアップメニューが表示されます。

iv. ポップアップメニューから[Export to Multi HV-Script File]を選択します。

v. [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。ファイルは“Multi HV-Script File (*.hs5)”フォーマットで保存されます。

Multi HV-Script File を開く



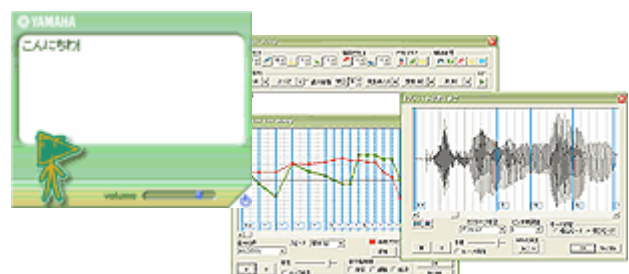
- HV-Script Assign Map 上で、マウス右クリックによりポップアップメニューを開き、[Import from Multi HV-Script File]を選択します。
- [ファイルを開く]ダイアログ表示され、先ほど保存した Multi HV-Script File (*.hs5)を選択します。
- HV-Script Assign Map 上に、一括で保存した HV-Script が表示されます。この時、HV-Script の ID 番号に対応した HV Sequenceトラックが Piano Roll Window 上にある場合、HV-Script が自動的にアサインされます。

HV-Script 作成のお奨めツール

HV-TOOL



HV-Script Decorator



HV 関連サイト) <http://hv.smaf-yamaha.com/jp/docomo/>